

天栄中学校区拡大運営委員会（2025.10.07 実施）
グループ討議における各グループの記録について

2025.10.17

<グループ1>

- 1 討議や情報交換のトピック
 - 小中一貫をどうやっていくのか
 - 9年間の長さの中、長期欠席の子は増えるのではないか
- 2 グループ内での話の内容
 - 運営協議会がもっとかかわりを持つ。
 - 小中一貫を目指すのは市の方向か？
 - 稲生小から天栄中に通えなくなるのか、はっきりわからない。
 - 長期欠席の現状
 - 小学校の統合はありか。中学校に続くのはなぜか。

<グループ2>

- 1 討議や情報交換のトピック
 - 小中一貫について
- 2 グループ内での話の内容
 - 小中一貫について。
 - 天栄中、栄小の先生が、天栄中学校をモデルにすると、中一ギャップについて調べたら環境の変化ですとれるがあるということなので、中学校の中でストレスを与えないように中一ギャップを考える。
 - (小中一貫教育の)メリットとデメリットが分らないと学校教育（教育委員会？）の方から説明がないとわからない。
 - 教育内容は学校によって違うのか？
 - クラス数が少ないとコミュニケーション問題。クラス数が多くなると（子どもたち同士の）コミュニケーションが増えて、中学校、高校に向けてよい。
 - 7年後なので、現保育園の人たちの意見を参考にした方がよいと思う。
 - 9年間の学校になるので、小学6年生の卒業式がないので悲しい。
 - 部活関係も違ってくるので、小1から中学生は体力も違うので、悪い方に流される子もいるかも？
 - 小学4年生で区切りをつけて、中学校と一貫の中で区切るという案もある？

<グループ3>

- 1 討議や情報交換のトピック
 - 義務教育学校の具体的な姿、よいところ、デメリットがイメージできるように地域に早く知らせてほしい。
 - 教委と地域が合意形成できていないのに進めていくことに不信感
 - 住民の願いを聞いてもらい、小出しにしてもらいたい。でないと議論ができない。
 - 稲生は入れるのかはっきりしてほしい。

- 送迎バスのこと
- 2 グループ内での話の内容
 - 稲生小からは白子中へ行くことになっているが、（通学区域の弾力化を利用して）200名が天栄中に来ている。（もし義務教育学校の設置となつたら）天栄小に行けるのか？
 - 学校と地域の連携が大切
 - 住民は義務教育学校を求めていない。
 - 形の上で、義務教育学校を求めていない。
 - どこまで決まっていて、これから何を（決めていくのか？）
 - 骨子というが、こういう方向というのがない。
 - （住民に現状がどうなっているのか）説明してくれと言っているが、言つてもあるとき、急に提案がなされる。
 - 中身がはっきりしていない。
 - いい学校をみんなで作っていきたい。
 - 3校（合川、天名、郡山）が合わさるとコミュニティも関わってくる。
 - 稲生小が（目指している義務教育学校に）は入れるのかをはっきりしてほしい。
 - 「ここまで決まった」ということを時系列的にまとめ、小出しに地域に知らせてほしい。また、住民の願いを聞いてもらい、小出しに方向性を示してほしい。
 - 合意形成ができていないのに、進めている。
 - 義務教育学校の具体的な姿（良いところ、悪いところ）がイメージできるように早く知らせてほしい。

<グループ4>

- 1 討議や情報交換のトピック
 - 地域の関わり
- 2 グループ内での話の内容
 - 一貫校と地域（まち）づくり等各地区との関り
 - イベントは各地区単位以外にも呼び掛ける。
 - ボランティアの活動範囲
 - 子どもの見守り
 - 一貫校の方向性を示してほしい。

<グループ5>

- 1 討議や情報交換のトピック
 - いじめ
 - 地域
 - 教育
- 2 グループ内での話の内容
 - コミュニケーション（力）が高い、いじめのない学校
 - 制服がカッコいいものにしたい。
 - 自己肯定感を高めてほしい、
 - いじめのない学校。「落ちこぼれ」「落伍者」のない学校（「落ちこぼれ」「落伍者」を救ってほしい）

- (義務教育学校は)団いが大きくなっただけで、子どもたちのリセットがあるのかな? ⇒ 小学校で一区切りで気持ちがリセットできるが、(小中)一貫では区切りがなくなる?
- 9年間一緒にでは、人間関係で合う、合わないが出た時、距離をとけるようなクラス替えなど必要。
- 地域のつながりを大切にする学校
- 地域の行事に参加してほしい。
- (学校では) 地域のボランティアを (もっと) 使って (活用して) ください。
- 教育の方でできる子ばかり見るのではなく、できない子を学力がついていけるようにしてほしい。
- ASDの子たちが増えてきている。大人だけではなく、子どもたちにも理解できるような教育
- クラブ活動(手芸など)で、地域の人がお手伝いできるかも。

<グループ6>

- 1 討議や情報交換のトピック
 - 小→中のギャップについて
 - 一貫になるデメリット
- 2 グループ内での話の内容
 - 小1ギャップ(みんなで登校) 中1ギャップ(同級生との格差を感じる)は必ずある。
 - 学校に打ち解けるのと友だちと打ち解けるのとは別
 - 小学校の時に仲の良かった子たちと中学校になり、バラバラになり、(学校に) 行きたくなくなってしまう。
 - 中学校は送り迎えが多い。
 - 小1から中3の子6年から9年一貫になるとよいところ(スムーズになる)もあるが、6年でもカリキュラムが難しいのに、9年だともっと難しくなる。
 - <メリット>

部活を小学生が中学生を見てあこがれや教えてもらうなどして部活が強化されるのではないか?
 - <デメリット>
 - ・ 中高私立のように、小学生が騒いでいるところ、中学生のナイーブな時期に耐えられるか?
 - ・ (年齢が)下の子も心配だが、中3は大人に近い。
 - ・ 同じ敷地に(校舎を)建てただけでは、同じ敷地にいるだけ(でメリットも表れにくいのではないか?)
 - ・ 学習面、精神面心配。学習面だけではなくサポートがいる。
 - ・ 不登校(の児童生徒に対して)、担任が休んだら(中学校の副担任など)、地域が広がって、先生方が対処できるのか?
 - ・ (小中の)先生の連携がどうなるのか?(小中の先生の間で)温度差が出るのではないか?
 - ・ スクールバスによって、体力低下、交通ルールを守ったり、季節を感じたり、地域を感じたりすることがなくなる。
 - ・ バスを降りた後の見守りが必要。不審者心配。地域の人の声掛けが

減る。

- ・ 地域探検できなくなる。経験が減る。
- ・ 学童へはバスを降りてから各地区へ行くことになる。
- ・ 給食センターから運ばれる給食、冷めておいしくないのでは？
- ・ 荒れている中学生を見て小学生は怖がらないのか？

<グループ7>

1 討議や情報交換のトピック

- いじめのない学校にするには
- 今の子どもたちの学校が変わるのは？
- 今後の学校運営委員会はどうなる？

2 グループ内での話の内容

- 小学校で話し合い解決しても、中学校へ行っても変わらない。いじめは続くのでは？
- 9年間逃げ場がなくなるのは。
- 先生が生徒の前で叱るといじめに発展する。
- 今の1年生は入学と卒業で学校が変わり、中学でも2回目に変わるのはどうか？
- パソコン相手の授業はいいのか？
子どもたちが他の子供の意見など知ってしまうと自分の意見を考えずに他人の意見で済ませてしまうので（いいと思わない。）
- 中1ギャップというけども、9年間通して高校に入ったときのギャップの方がきついのではないか。

<グループ8>

1 討議や情報交換のトピック

- どんな学校にしたいか

2 グループ内での話の内容

- 地域の方々の想い、愛情が引き継がれる学校。子ども自身も地域を愛し、地域を大切に。
- 大切なもの、楽しく通える学校、仲良く学べる学校
- 天名（相撲や稲作など）、それぞれの学校の分か大切に新しい文化を作ってほしい。
- お年寄りの声、尊び、交流が欲しい。
- 読み聞かせも大切。
- 地域の方の協力
- 友だちとの遊びは（合川と栄の友だちは遠いので）どうなる？
- （義務教育学校の学年の区切りについて）4・3・2（やりやすいと聞く）や6・3などがあるが、まだ定まっていないようだが、義務教育学校について（教育委員会は）どこまで詰めているのか？
- 高校生ギャップが生まれるのでは？
- （児童の）リーダーシップがなくなる。長所、短所がある。
- 先生が大事（学校の人事）
- 課題は山積み